

# 始動。第3次亀山市総合計画 「グリーンプラン2.0」 ～人とまちの輝きが未来を創る 緑の健都 かめやま～

市では、これからのまちの成長と暮らしやすさをさらに高めていくため、本年度からスタートする「第3次亀山市総合計画 グリーンプラン2.0」を策定しました。この計画で目指すのは、人口減少が進行する中でも、持続的に発展し、地域幸福度（ウェルビーイング）の向上につなげることです。その実現には、市民力と地域力を、市民、地域、企業など多様な主体の連携・協働や公民の協創などの「つながり」によって磨き上げていく必要があります。

今回の特集では、第3次総合計画の役割に触れながら、計画の概要とまちづくりに関わる皆さんの声を紹介します。

問合せ 政策推進課政策調整グループ ☎84-5123



## 【基本構想】 市が目指す将来都市像 人とまちの輝きが未来を創る 緑の健都 かめやま

多様な地域資源を活用し、まちとそこに暮らす人々を最良な状態に保てるよう持続的に発展できるまちを形成することで、地域幸福度（ウェルビーイング）の向上につなげていきたいと考えます。こうした認識のもと、環境変化に適応しつつ、まちの活力と魅力を高め、人もまちも希望と活気に満ちた輝きを持ちながら、より良い未来を創造していく「緑の健都」を目指します。

### ■計画の構成と計画期間

#### 3層構造

#### 基本構想 (政策)

市の将来都市像（ビジョン、将来推計人口、都市空間形成方針等）と政策の大綱

#### 基本計画 (施策)

基本構想に基づき、市域の総合的かつ一体的な整備に必要な方策等（各分野の取り組みの方向性）

#### 実施計画 (事務事業)

基本計画を具体化するために実施する取り組み

	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	
<b>基本構想</b> 第2次総合計画	第3次総合計画(8年間)								次期総合計画	
<b>基本計画</b> 第2次総合計画 後期計画	前期基本計画(4年間)				後期基本計画(4年間)					
<b>実施計画</b>	前期(4年間)				後期(4年間)					

# 亀山の未来を導く総合計画



亀山市総合計画審議会

会長 石坂 督規さん

Profile

埼玉大学教授兼キャリアセンター長。広島大学大学院修士課程修了後、三重大学准教授、東京未来大学教授を経て現職。専攻は、地域社会学・地域創生論。これまで、観光・まちづくり、若者就業支援、男女共同参画、産業振興などに関わるアドバイザーや講師、審議会・委員会の委員を数多く歴任。現在、三重県人口減少対策有識者会議委員、三重県人口減少対策・人材確保に向けた産学官連携懇話会委員なども務める。

## 総合計画はまちの将来を示す道しるべ

人口減少や高齢化、働き手不足や地域経済の縮小、インフラの老朽化など、地域が抱える課題は年々多様で複雑になっています。こうした状況の中、総合計画をつくる際には、地域の仕事や暮らしをどう支えるか、インフラの維持や防災対策をどのように進めるのかなど、現実の課題をしっかりと見つめることが大切です。

総合計画は、まちの将来の姿を分かりやすく示し、何に優先して取り組むのかを整理する役割を持っています。また、市民・企業・地域団体の皆さんと目標を共有し、協力してまちづくりを進めるための道しるべとして、これからの自治体運営に欠かせない計画といえます。

## 地域の強みを生かす視点で策定した総合計画

第3次亀山市総合計画は、人口減少や高齢化の進行、地域経済や社会環境の変化を踏まえ、「持続可能で、地域幸福度を高めるまちづくり」と「多彩なつながりでつくるまちづくり」を柱としてまとめました。市民・事業者・行政が協力し、地域の強みを生かす視点を重視している点が特徴です。また、価値観や生活様式の多様化、ウェルビーイングへの関心の高まりに伴う社会環境の変化への対応、デジタル化の進展、広域交通ネットワークの強化など、今の時代に求められる分野にも重点を置いています。亀山市総合計画審議会では、市民の皆さんの多様な意見を取り入れながら、実現性と持続性のある計画となるよう議論を重ね、意見の集約を図りました。

## 一人ひとりが総合計画の主役

第3次総合計画を実現していくためには、市民一人ひとりが地域を支える存在として、自らが主体的に関わっていくことが大切です。日々の暮らしの中で地域の課題に目を向け、まちづくりの活動や話し合いの場に参加していただくことが期待されます。また、計画を自分ごととして捉えていただくためには、行政が分かりやすく情報を伝え、市民の皆さんと丁寧に意見交換を行うことが重要です。こうしたプロセスを積み重ねることで、市民や地域団体、企業、行政がそれぞれの得意分野を生かしながら協力し合い、新たな価値が生まれていきます。こうした協働・協創の取り組みが、持続可能で魅力あるまちづくりへとつながっていくのです。

### 協働・協創から広がる、まちづくりの輪

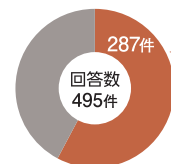
### 地域の力を持ち寄り、新しい価値を生み出す基盤に

将来都市像を実現するためには、市民一人ひとりが地域の担い手として関わり、まちづくりを進めることが重要です。令和7年3月に実施した市民アンケート調査では、多くの市民が「市政やまちづくりに市民が参加していることが重要だと思う」と回答する一方で、「市政やまちづくりに市民が参加していると思う」と回答する人は少ないことが分かりました。

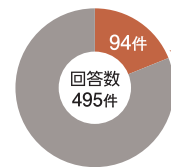
こうした状況を踏まえ、第3次総合計画の策定では、若者や地域まちづくり協議会など、さまざまな立場の人の意見を取り入れました。また、市民活動・ボランティアセンター「ぷらっと」では、市民や団体、企業など多様な主体がつながり、協力できる環境づくりを進めるなど、市の各分野でも協働・協創の取り組みが広がっています。



第3次総合計画の策定に向けたワークショップ(カメトーク)



市政やまちづくりに市民が参加していることが重要だと思う  
**58%**



市政やまちづくりに(関連する活動に)市民が参加していると思う  
**19%**

【参考】第3次亀山市総合計画策定に向けた市民アンケート調査報告書  
■調査対象者/18歳以上の市民1,200人(回答数:495件)

# 多彩なつながりで地域幸福度を高めるまちづくり

市民・団体・企業・関係人口等の多彩な個の輝き(市民力)と、有形無形の地域資源が織り成す独自のまちづくりの文化を本市の「地域力」として捉え、それらを生かし、多様な主体の連携・協働や公民の協創等のつながりによって磨き上げながら、ここに暮らし、集う人々の地域幸福度を高めるまちづくりを進めていきます。

## 企業との協創が生み出す、健康なまちの未来



明治安田生命保険相互会社  
四日市支社 亀山営業所  
営業所長  
宮川 靖志さん



健康チェックイベントの様子

### 協創で進める健康増進と地域の元気づくり

当社の「地元の元気プロジェクト」が掲げる地域の皆さんの健康増進と豊かな地域づくりへの思いが、亀山市の健康増進の方針と一致したことから、令和3年に連携協定を結びました。この協定をきっかけに、当社と亀山市は連携を深め、「緑の健都 かめやまdeウォーキング」や「かめやま健康都市大学」など、市が主催するさまざまなイベントに参加しています。血管年齢測定やベジチェックなどの健康チェックを実施し、地域の皆さんが自分の健康と向き合うきっかけづくりを支えながら、健康づくりと暮らしの質の向上に取り組んでいます。

### 人と地域をつなぐ、私たちの新しい役割

私たちは、亀山市と地域の皆さんをつなぐ橋渡し役としての役割を果たしながら、健康づくりの輪を一層広げていきたいと思っています。誰もが暮らしやすい地域を実現するために、生命保険会社という枠を超え、“人と人”、そして“人と地域”をつなぐ存在であり続けたい。これからも、地域の未来をともに作るパートナーとして歩みを進めていきます。

#### 第3次総合計画によるまちづくりの展開

## 目指すまちのイメージと政策の柱(大綱)

「人とまちの輝きが未来を創る 緑の健都 かめやま」の具現化を図るため、6つの政策の柱(大綱)を設定し、それぞれの分野からまちづくりを展開します。また、政策の推進にあたっては、前期・後期(各4年)の基本計画を策定し、関連施策を位置付けるとともに、互いに連携を図りながら、施策の相乗効果を導きます。

主な取り組みは、別冊「令和8年度版 わかりやすい予算書」をご覧ください。



基本構想		前期基本計画
目指すまちのイメージ	政策の大綱	基本施策
活力が魅力を高めるまち	まちの活力とにぎわいの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市空間の魅力化と交通拠点性の向上</li> <li>企業活動の促進と雇用の確保</li> <li>商工業・観光の活性化</li> <li>農業の活性化</li> <li>歴史文化を生かしたまちづくりの推進</li> </ul>
子どもの笑顔が輝くまち	子どもたちの成長と学びを支える環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・子育て支援の充実</li> <li>学校教育の推進と学習環境の充実</li> </ul>
豊かな自然が暮らしを支えるまち	自然との共生と次世代への継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>脱炭素化の促進と循環型社会の形成</li> <li>森林づくりの推進と源流域の保全</li> <li>生物多様性の保全と野生鳥獣との共生</li> </ul>
誰もが健やかで生き生きと輝くまち	健やかで生き生きと活躍できる社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりの推進と地域医療の充実</li> <li>地域福祉・生活支援の充実</li> <li>高齢者福祉の充実</li> <li>障がい者福祉の充実</li> <li>文化芸術の推進</li> <li>スポーツの推進</li> </ul>
安全・快適で暮らしやすいまち	安全で快適な生活空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災・減災対策の強化</li> <li>住環境の向上</li> <li>道路の保全・整備</li> <li>上下水道の充実</li> <li>地域公共交通の充実</li> <li>消防力・地域安全の充実</li> </ul>
人のやさしさがつながりと活気を育むまち	多様な連携と交流によるまちの活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域まちづくり活動の促進</li> <li>協働・協創の推進</li> <li>生涯学習の推進</li> <li>多様な交流の促進</li> <li>人権の尊重とダイバーシティ社会の推進</li> </ul>

# 将来都市像の具現化へ ～前期基本計画 **K<sup>2</sup>**プロジェクト～

前期基本計画では、重点的かつ分野横断的な取り組みとして、「重点プロジェクト」を位置付けています。市がこれまで培ってきたまちの強みを生かしつつ、将来を見据え、“亀山をもっと輝かせる”を基本コンセプトに、4つのプロジェクトで構成する「K<sup>2</sup>プロジェクト(Kameyama × Kagayaki)」を展開します。これにより、ウェルビーイングの向上や都市課題の解決等を図り、ここに暮らし、集う人々やまちの希望と活気の醸成につなげることで、「ここが良かった」と実感できる「緑の健都」づくりを目指します。また、当面の物価高による市民生活や地域経済への影響を鑑み、国の政策動向を踏まえた上で、臨時的な対策として総合経済対策にも取り組み、重点プロジェクトの効果的な推進につなげます。

## K<sup>2</sup>プロジェクト Kameyama × Kagayaki

**未来デザインプロジェクト**  
【交通拠点 × 新産業 × 交流】  
〔プロジェクト推進プログラム〕

- 次世代産業の集積促進
- 中心拠点とネットワークのリ・デザイン
- 都市ブランディングと多様な交流の促進
- 街道文化の魅力向上

**緑の環プロジェクト**  
【自然環境 × 流域 × QOL\*】  
〔プロジェクト推進プログラム〕

- 鈴鹿川等源流域の保全と活用
- ネイチャーポジティブかめやまの推進
- 環境保全対策の強化
- 「水にこだわる」環境の充実

\*Quality of Life…「生活の質」や「人生の質」の意

**健康・文化創造きらりプロジェクト**  
【健康 × 文化 × 地域力】  
〔プロジェクト推進プログラム〕

- かめやま健康都市大学の拡充
- 市民主役の健康活動の促進
- かめやま文化年の展開
- 「ひとりぼっちをつくらない」共生社会づくり

**「教育のまち亀山」DNA継承プロジェクト**  
【子ども × つながり × コミュニティ】  
〔プロジェクト推進プログラム〕

- チャレンジできる環境の創出
- 家庭・地域教育力の再生
- 学校を核とした地域コミュニティの活性化
- 子どもの居場所空間の充実

## 市民の目線で「総合計画」をつくる。



亀山市総合計画審議会  
委員  
上谷 成美さん

### 審議会で気づいた、まちづくりに大切なこと

移住して間もないこともあり、亀山市をもっと深く知りたいという思いから、一般公募で応募しました。最初は、他の委員さんがどのような視点で議論に参加するのか分からず、緊張しながら様子を伺っていましたが、議論が始まると、多様な経験や価値観を持ちながらも、まちの未来を広い視野で考える人ばかりで、安心して意見を交わすことができました。回を重ねる中で、「計画をつくるのが目的ではなく、どう実行していくかが重要なのだ」という思いがより強くなりました。

委員としてまちづくりに関わることで、亀山の未来に自分も貢献できるという手応えとその意義を感じることができました。

### 市民の声が届き、未来が動き出すまちへ

亀山市には市民の声を丁寧に受け止め、それをまちづくりに生かしていく存在であってほしいと思います。市長と市民の距離が近いことは、このまちの大きな魅力です。その一方で、寄せられた声が実際の変化につながっていくことにも期待しています。ときには柔軟さに課題を感じる場面もありますが、それでも亀山には大きな可能性があり、これからの発展を楽しみにできるまちだと思っています。市民として、これからも亀山を深く知り、本当に必要なことを自分の中でしっかり見極めながら、主体的に意見を持って関わっていきたくと考えています。

第3次  
総合計画を  
もっとよく知る

#### 総合計画を“見る”



市ホームページで「第3次総合計画」について紹介しています。ぜひご覧ください。

#### 総合計画について“聞く”



「かめやま出前トーク」では、「第3次総合計画」をテーマにした講座もあります。ぜひご利用ください。

今回の特集記事について  
感想をお聞かせください!

